

2025 年 8 月 21 日

「けんぱく・こどもゼミ」2025

Step 1

《 博物館のうらがわをたんけん！ 》

① はじめに

担当：県立博物館 学芸員 島田 和（しまだ・のどか）

（電話：073-436-8670） admin@hakubutu.wakayama-c.ed.jp

② 「博物館」で学んでみよう。

(1)きのくに-和歌山県の歴史と文化財

和歌山県にはたくさんの文化財が残されている

（国宝は全国第 6 位、重要文化財は全国第 7 位）

日本全体の歴史と結びつけて学ぶことができる

(2)実物をつかって学ぶことができる → 体験できる

研究する人（学芸員）がはたらいている → 質問できる

③ 「博物館」ってどんなところ？

資料（文化財）を「集める」「守る」「調べる」「展示する」「教え広める」

はたらく人びと：館長・学芸員・そのほかの職員

④ 今回の「けんぱく・こどもゼミ」で学ぶこと

博物館

Step 1 博物館のうらがわをたんけん！

専門分野

Step 2 いろいろな文化財をみる！

調査

Step 3 仏像をくわしくしらべる！

研究

館長ゼミ 仏像のレントゲン写真？！～調査の最先端～

⑤ 目標 「これっておもしろいかも！」をたくさんみつけること！

📝 そのために……おはなしをききながら気になったことはメモしておこう

⑥ 文化財にふれるときの心がまえ

📝 一番大事なのは……「これをさわるぞ！」と思って、しっかり見ること

(1) 注意してほしいこと

- ・学芸員の指示には絶対にしたがうこと！「おふざけ」禁止

(2) 準備

- ・手をあらおう！ つめは切った？ 指先をけがしていないか。
- ・服装のチェック、時計などをはずす。動きやすいスタイルで。
- ・メモを取るときはえんぴつを使おう。(シャーペン はだめ)
→ あらかじめ、文化財をいためそうなことを取りのぞく

(3) 文化財のたいせつさ

- ・この世にひとつしかないもの、県民のたからもの
- ・修理する(直す)ことは、とても難しい

⑦ 館内の設備

(2 階)・学習室・文化財情報コーナー

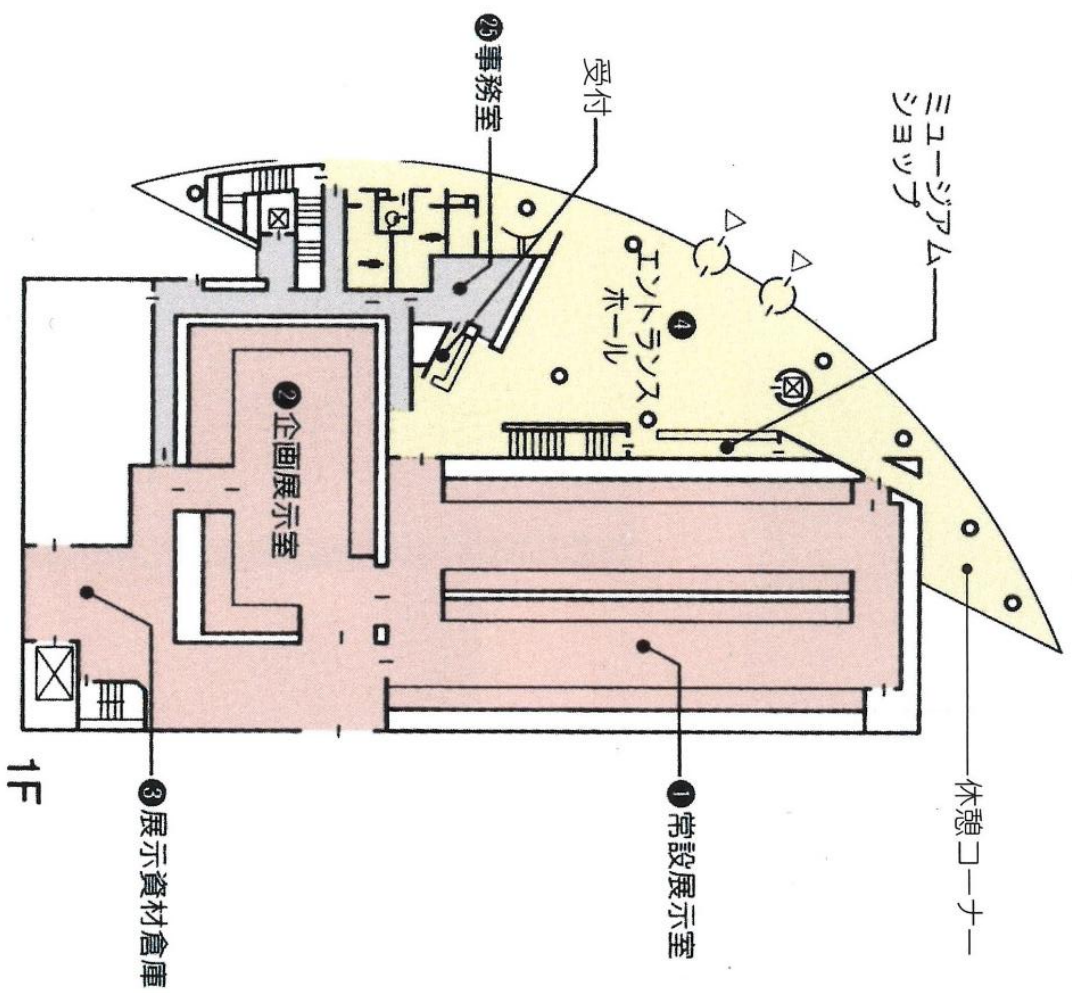
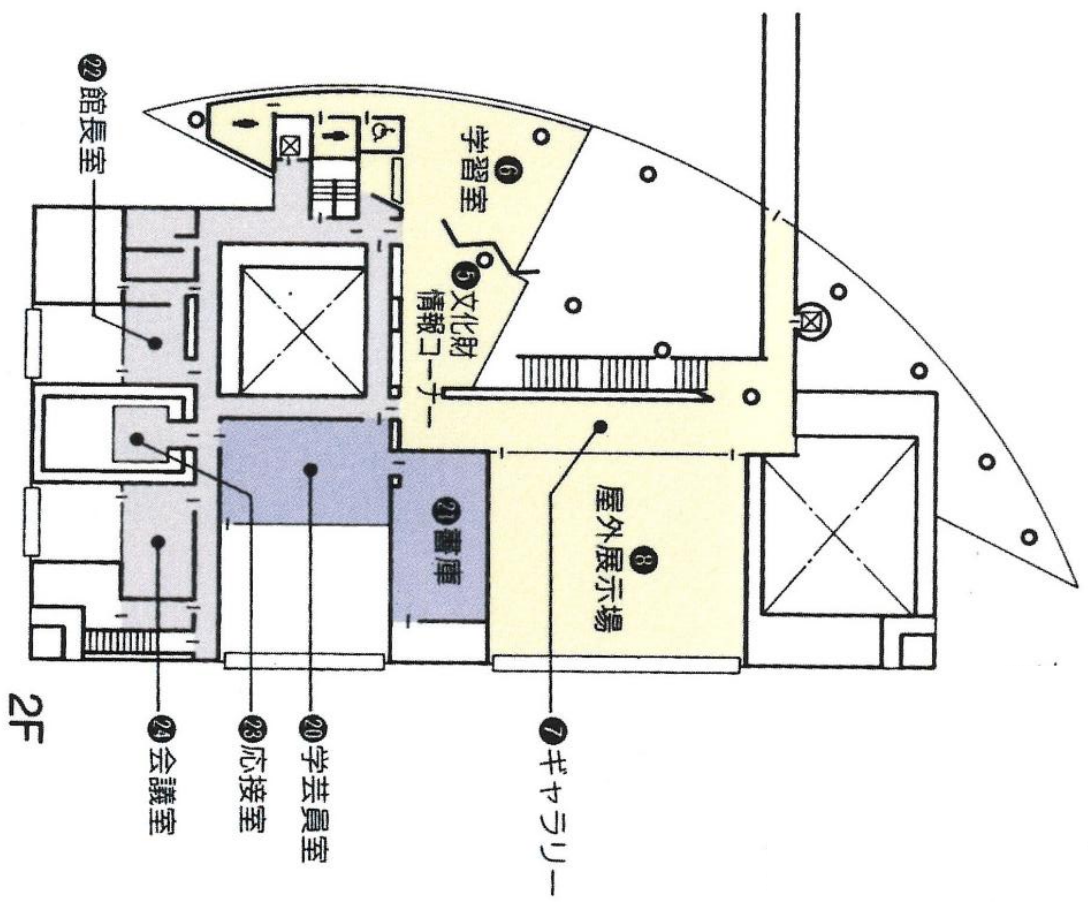
- ・館長室 ・学芸課・書庫
- ・屋外展示場・ギャラリー

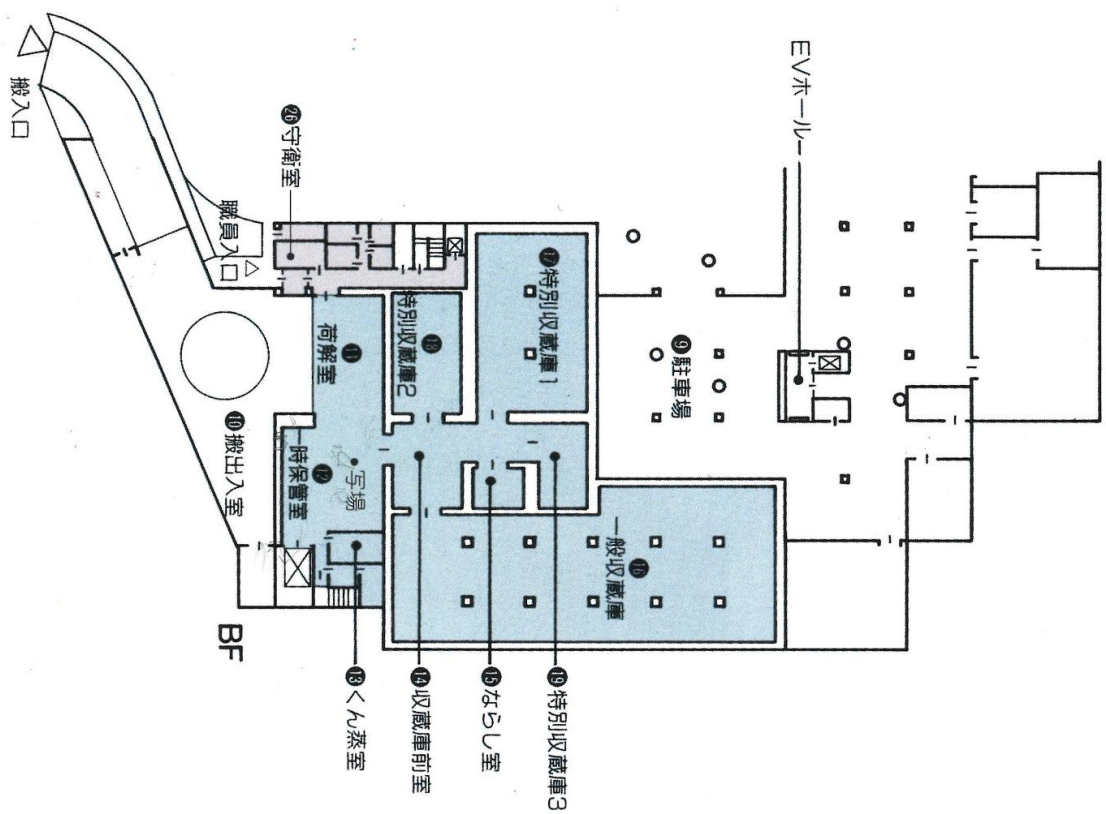
(1 階)・エントランスホール

- ・受付 ・ミュージアムショップ ・休憩コーナー
- ・常設展示室(常設展) ・企画展示室(企画展)
- ・総務課 ・空調機械室 ・**展示準備室**

(地階)・**くん蒸室** ・**写場**

- ・**収蔵庫**(収蔵庫前室、一般収蔵庫、特別収蔵庫Ⅰ～Ⅲ、ならし室)
- ・**搬出入室、荷解室** ・守衛室
- ・**駐車場**(屋内:90 台、屋外:観光バス用) ・中央監視室





博物館たんけんの記録

ふりかえってみよう～どんな部屋があった？～

(1) いちばん印象に残った部屋の名前



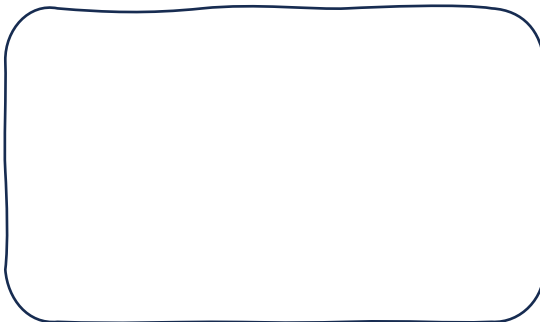
(2) そこにはなにがある？なんのための場所？



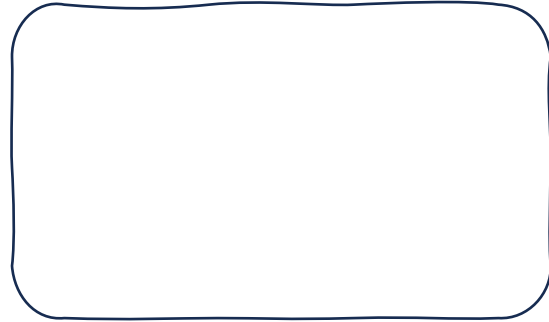
(3) そこではどんなひとが活動するだろう？なにが得意な人？



(4) 時間があまったら、博物館と美術館のロゴをスケッチしてみよう



和歌山県立博物館



和歌山県立近代美術館